

第109号

2021年2月10日発行
発行 上富良野町議会

表紙：子どもセンター 親子教室 すまいる

第4回定例会

12月開催

各委員会の閉会中の継続調査報告

コロナ禍による地域経済対策を求める意見書を提出

かみふんの 議会だより

町政を問う！議員4名の一般質問

日の出公園駐車場拡張決まる

財産取得の議決！賛成7、反対6で

決着

小学生、中学生もわかる

今さら聞けない議会のコト その5

らべとんの大冒険！！

向山町政最後の定例会



激動の2020年を締めくくる

令和2年第4回定例会は12月16日から17日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例改正、人事案件等について慎重審議を行いました。
また、4人の議員が一般質問を行い、町の考えを問いました。

■ 12月補正予算の状況 ■

会 計 名		補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計		197万6千円	92億5,955万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	2,811万円	13億5,121万7千円
	後 期 高 齢 者 医 療	1,256万9千円	1億6,449万7千円
	介 護 保 険	115万円	10億7,187万7千円
	ラベンダーハイツ事業	286万円	3億5,262万6千円
	公 共 下 水 道 事 業	▲343万8千円	4億412万5千円
企 業 会 計	水道事業	収益的支出	0円
		資本的支出	—
	病院事業	収益的支出	993万9千円
		資本的支出	—

各会計の補正予算を可決

一般会計の主な補正の概要は、戸籍情報システム・住民基本台帳システム改修に係る事業費、平成31年度北海道後期高齢者医療広域連合負担確定による療養給付費負担及び特別会計繰出金、給与条例改正及び会計間異動等に伴う職員給与費、更には各事業費確定に伴う執行残の減に伴う補正となっており、歳入歳出それぞれ197万6千円を追加し、総額92億5千955万円とする補正予算を原案の通り可決しました。

補正予算

条 例

選挙運動の公費負担に

関する条例は付託に

公職選挙法の改正に伴い、町長及び町議会議員の選挙運動における公費負担（選挙運動用自動車、選挙運動用ビラ、選挙運動用ポスターに係る経費）が追加されるため、当該必要事項を定める条例制定の案が示されましたが、所管である総務産建常任委員会にて「町民に対しその趣旨と目的を正しく伝えるためにも議員間でより理解を深める必要がある」との意見が多く聞かれ、今定例会において賛成多数で総務産建常任委員会に付託されました。

地方税法等の改正に伴う

条例の一部改正

租税特別措置法及び地方税法の改正に伴う延滞金及び還付加算金の割合の特例に関する整備のため、債務管理条例の附則中の「特例基準割合」の名称を「延滞金特例基準割合」に変更する改正案を原案の通り可決しました。

また、後期高齢者医療に関する条例及び介護保険条例の附則中「特例基準割合」の名称を「延滞金特例基準割合」、還付加算金特例基準割合」に変更し、還付加算金等の割合について平均貸付割合の加算を年0.5%に引き下げるなどの改正案を原案の通り可決しました。

手数料条例の一部改正

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律及び建築基準法等の改正に伴い、手数料条例の別表中、長期優良住宅建築等計画認定の増改築時の認定申請徴収項目の追加、指定評価機関の事前審査を受ける際の手数料の低減条件などの項目及び手数料の金額を改正する改正案を原案のとおり可決しました。

人事

人権擁護委員

人権擁護委員候補者を推薦する議案が提出され、全員賛成で適任とすることに決定しました。

座間 雪子さん(再) 新町3丁目

町議会議員補欠選挙



北條 隆男 (66歳)

所属委員会 厚生文教常任委員会
党 派 自由民主党
職 業 無職

11月29日に執行した町議会議員補欠選挙において北條隆男氏が当選しました。

財産の取得

日の出公園駐車場用地を正式取得

令和2年第3回定例会では日の出公園駐車場用地買収に係る補正予算が可決されましたが、地方自治法第96条に則り、今定例会において駐車場用地取得の案件が上程され、賛成7(北條・金子・佐藤・今村・小林・小田島・岡本) 反対6(元井・高松・中瀬・中澤・米沢・荒生)で原案のとおり可決されました。(詳細は4・5ページ)
地積: 1万5千96・83㎡
土地取得価格: 4千830万9千856円

意見書を国に提出しました

コロナ禍による地域経済対策を求める意見書

- 一、新型コロナウイルス感染拡大が続くと一層のインバウンド需要の落ち込み、観光事業の低迷や外出自粛などの経済損失が拡大し、地域社会全体への影響は必至なことから、地方自治体への対策関連予算を十分確保し、適宜対応を図ること。
- 二、新型コロナウイルス感染拡大によって落ち込んでいる農畜産物の需要を喚起する対策を強化し、今後もコロナ禍での影響試算と対策を拡充すること。特に米の需給・価格安定に向けた対策を早期に実施すると共に、来年度に向けた米政策についても抜本的な見直しを図り、需給調整機能が発揮される仕組みを構築すること。

第7回臨時会(11月30日開催)

一般会計補正予算などを可決

重度心身障害者医療給付事務遅延による賠償金等の補正予算、歳出に10万7千円を追加し、予備費から同額を減額する一般会計補正予算(第11号)の専決処分を承認可決しました。

上富良野町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例が議員発議として提案され、令和2年12月に支給する期末手当に限り、「100分の210」を「100分の205」に減額とする発議案第1号が原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算(第12号)は、総額92億4千915万7千円に歳入歳出それぞれ841万7千円を追加し、総額を92億5千757万4千円とする補正予算を原案のとおり可決しました。

主な事業は

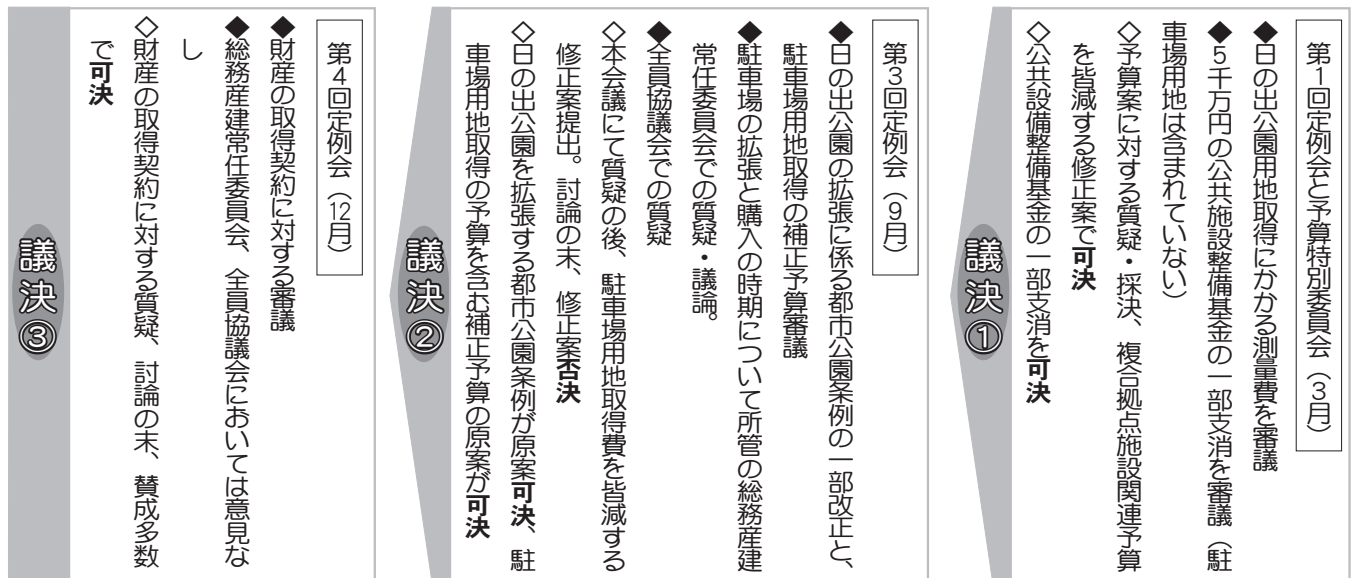
- ①救急活動感染症予防資器材整備事業(富良野広域連合負担)(350万円)
- ②スマート農業促進特別対策(1千413万円)
- ③中小企業経営継続奨励助成(1千275万円)
- ④小規模事業者持続化補助(750万円)
- ⑤吹上温泉保養センターサウナ室改修事業(670万円)

日の出公園駐車場用地の財産取得を巡り

議員間の解釈の違い鮮明に

反省会から見えてきたものとは

～財産取得に係る3つの議決の流れ～



※ ◆…委員会・協議会での動き

◇…本会議での動き



議会活動が整理された冊子

財産の取得が賛成多数で可決。しかし議員間の認識の相違が浮き彫りに…

財産の取得を審議するにあたり4名の議員が「第3回定例会時では説明が十分でなかった」（荒生）「価格設定に疑問がある」（米沢）「駐車場横になぜ道路も必要なのか」（中瀬）、「当時とは状況が変わっている」（元井）と質問に立ったが議長より「すでに十分審議つくされた内容についての質問である」という理由で質問が取り消される。つまり質問された内容が、第3回定例会時（議決①）において十分な質疑と議論を尽くした上で議決された事項（購入の目的と用地取得の予算）であり、第4回定例会において質疑されるべきは、財産の取得契約という行為についてのみであるという議長の判断である。

これに対し、定例会後の反省会では、「一度議決された事項については意見の違いはあれども議論を煮返すべきではない」とする立場と、「地方自治法で定める金額や面積を超える財産の取得に関しては議決が必要とされている以上、改めて慎重に審議した後に議決されるべきである」という立場で意見が分かれた。前者はすみやかな行政執行を行う上での議会と理事者間での不文律を重んじる立場である一方、後者は議員としての質問する権利を主張する立場の違いである。

急遽行われた討論

その討論に関しても議員間の認識の違いが…

議会当日、駐車場用地取得に反対する立場の議員から議長に対しこの議案について討論を行う旨の申し出があり、その結果財産の取得に係る質疑の後、議場にて討論が行われた。反対討論では、「コナ禍における観光需要やイベント開催の変化に対する懸念（荒生・元井）、交渉価格に関する懸念（中瀬）、財政状況についての不安（中澤）用地の雨水・排水の問題（高松）などが述べられた。一方賛成討論では、駐車場用地取得についての必要性（小田島・岡本）や、そもそも第3回定例会で必要か不必要かに関しては議論がしつくされておき、それ以降に財産を取得する上で新たな問題は生じていないとし、議員として一度審議され議決したことに対して責任を持つべき（佐藤）、売買契約での債務不履行の責（金子）、安全管理上、緩衝地帯としての点で購入はうしかない（今村）という意見などが述べられた。

この件に関して反省会では、これまでの上富良野町議会の慣例では討論を行う際は少なくとも前日までに議長に対して申し伝え、他の議員に対しても周知がされており、過去に当日知らされたことは一度もなかったという意見が聞かれた。一方その慣例に関しては明文化されたルールが存在するわけではなく、当日議長に討論する旨を申し伝えたこと自体に問題はなく、議員としては常にこの議案に対しても討論に臨む準備をして議会に臨むべきという意見も聞かれた。

解説



議決①のポイント解説

日の出公園の駐車場の用地を拡張する上で、理事者側から提案された用地を測量するための予算が、予算特別委員会で審議され可決。また、公共施設を整備するための町の貯金である「公共施設整備基金」の一部を支消する（引き出す）ことを可決。この時点では支消した「公共施設整備基金」の使途には駐車場用地取得費は含まれていない。

議決②のポイント解説

日の出公園の駐車場を拡張し、新たな用地を取得するための補正予算を審議。また同時に駐車場の面積が定められた条例の改正を審議。予算に関しては新型「コナウィルス対策予算などで様々な財源組替があった関係で、先に支消した「公共施設整備基金」の一部を充当。委員会、全員協議会、本会議において質疑・議論・討論がなされ、本会議で駐車場用地取得の予算を0にする皆減の修正案が提出される。この時の用地取得に反対する意見としては、総事業費に対する説明不足、「コナ禍におけるイベントや観光需要の変化、町立病院建設を見据えた財政不安などが述べられた。この修正案の提出者に対し、修正案の不備についての疑義や修正案に伴い先に議決して支消した「公共施設整備基金」が充当された予算を皆減して、使途目的のない予備費に組替えることに対し議員としての考えを問われる一幕もあった。また用地取得に賛成する立場と

しては、駐車場の拡張が観光振興に期するであろうこと、現状各種イベントで民間業者等に迷惑をかけていることなどが述べられた。討論後の採決の結果、修正案は否決され、その後、原案が可決された。この第3回定例会においては、この議案について討論が行われることは事前に議員全員に共有されていた。

議決③のポイント解説

地方自治法では金額700万円または面積5千㎡を超える財産の取得に関しては、予算に関する議決（議決②）の他に、財産の取得にあたっても議決（議決③）が必要となる定められている。その法律に対しては、「さらに慎重に審議されるべきであるから再度議決が必要とされている」という解釈と、「財産取得に関してはあくまで取得契約に係る不備などがなければ審議する場である」という解釈の違いが議員間であることが浮き彫りになった。



日の出公園ラベンダー園

平成 31 年度決算を 徹底審査！



令和 2 年 10 月 6 日・7 日・8 日の 3 日間、議長と議会選出の監査委員を除く 11 名で決算特別委員会（岡本康裕委員長）を開会し、平成 31 年度の一般会計、国民健康保険特別会計ほか 5 件の特別会計、病院・水道の企業会計の決算を審議しました。

分科会に分かれて全会計の歳入・歳出伝票の審査、議場で歳入・歳出に関する質疑などを行い、町長に一般会計 2 項目、ラベンダー・ハイツ事業特別会計 1 項目の意見を付し、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

3 項目の審査意見を付しました

一般会計

（歳出）

- 1 定住移住について、各事業を検証してより効果的な施策展開に努められたい。
- 2 予約型乗合タクシー事業について、利用者ニーズを把握し、利便性の向上に努められたい。

ラベンダー・ハイツ事業特別会計

- 1 経営安定化に努め、一般会計からの繰入金の軽減に努められたい。

富良野広域連合議会

第 2 回定例会

令和 2 年第 2 回富良野広域連合議会定例会が 10 月 14 日に開催され、補正予算案 1 件、人事案 2 件、条例案 1 件、認定 1 件、報告 3 件、その他 1 件が原案とあり可決・認定されました。

任期満了に伴う教育委員会委員には、服部久和氏（上富良野町教育委員会教育長）、岩渕秀一氏（南富良野町教育委員会教育長）が再任されました。

また、閉会中の継続調査として、総務産業委員会及び文教環境委員会から「所管施設の運営管理について」の調査報告がありました。

旭日単光章 受章



故 仲島 康行さん（満 81 歳）

令和 2 年 4 月 29 日受章
元町議会議員（平成 7 年～平成 19 年）
本町 1 丁目

北海道社会貢献賞 受賞



長谷川 徳行さん（72 歳）

令和 2 年 11 月 16 日受賞
元町議会議員（平成 11 年～令和元年）
錦町 1 丁目



ページ	質問議員	質問事項
8	荒生 博一 議員	① 結婚新生活支援事業について ② 十勝岳ジオパーク構想について
9	中瀬 実 議員	① 家族経営協定の推進について ② 農業者年金の普及、啓もうについて
10	高松 克年 議員	① 不登校児童・生徒に、より良い教育環境の機会を ② コロナ禍におけるスクールカウンセラーの重要性について
11	米沢 義英 議員	① 福祉事務手続きの遅延について ② PCR 検査体制について ③ 子どもセンター取壊しについて ④ コロナ禍における生活困窮世帯に対する支援について

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずねるものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。



— 荒生 博一 議員 —

結婚新生活支援事業の制度設計を

新体制の中で検討もあろうかと思われる(町長)

結婚
支援

荒生議員 結婚支援制度

は実施している自治体は少ないが、利用実態の有無は別にして、来年度から支援の拡充が行われるこのタイミングで、国費を一部活用できる制度として、また、少子化対策定住移住促進策の観点からも若い人を呼び込む力になる可能性も考えられ、当町においても早急に制度設計の検討をすべきと考えるが見解は。

向山町長 この事業は、

少子化対策の一環として実施されており、夫婦ともに婚姻届日における年齢が34歳以下で、かつ世帯所得が340万円未満の新規に婚姻した世帯に対して、住宅取得又は賃貸費用、引越費用に対し30万円を上限に補助する制度であり、財源は国1/2、市町村1/2負担により推進しているものであり、全国で取り組んでいる自治体は、11月1日現在289自治体であ

り、道内においては、24市町村、うち上川管内では愛別町と当麻町と承知している。国では本事業の拡充案として令和3年度から、対象年齢39歳以下、世帯所得は400万円未満、補助上限は60万円に引き上げるとともに、更に新規モデル事業案として、都道府県が推進事業の議論や将来への推進計画の提案について協議会を設置するとともに、モデル事業実施市町村が

受給者に対して家事育児参画促進講座等への参加義務付け等、実施要件に基づき取り組んだ場合は、国の補助率を2/3に引き上げる方向で検討されている段階にあると承知している。本事業については、これまで本町で検討を行った経過はないが、今後、新たな体制の中で本町における少子化や婚姻実態を踏まえた中で事業化についての検討もあろうかと思われる。

ジ オ

次年度の認定申請の可能性は

申請に向け精力的に

取り組んでいる(町長)

荒生議員

平成29年9月27日に認定見送りの結果を受けた後、この間3年が経過している。これまでの指摘事項に対する取り組みと、次年度の認定申請の可能性などについて、推進協議会の中ではどのような判断がなされているのか伺う。

向山町長

平成29年の認定審査における指摘事項は、大きく3点と捉えており、1点目の専門員体制については、本年度4月に、室戸世界ジオパークで専門員として十分な経験をつまれた専門員を職員として採用し、認定申請に向け精力的に取り組んでいる。2点目のジオパークガイドの養成については、年間十数回にわたる養成講座を受講し、

現在7名が認定され活動を行っている。3点目のジオパーク拠点施設の整備については、美瑛町郷土学館、上富良野町郷土館に加え、この度十勝岳火山砂防情報センターを位置づけ、整備計画について協議を進めている。

指摘を受けた課題の大部分において改善が図られ、拠点施設についても充実整備のめどが立っていると判断できることから、次年度の新規認定申請を行う予定であり協議会内で確認し準備を進めている。



サポーター養成講座「富良野岳の植物」のようす



農
業

—中瀬 実 議員—

協定書締結に助言立会されているか

地域の農業委員が立会助言している
(農業委員会会長)



家族経営協定のすすめ

中瀬議員 家族経営協定は家族みんなで働きやすい経営方針、役割分担を十分話し合い、取り決めるものである。現在の締結件数は93戸だが、後継者がいて協定書を締結していない戸数は何件か。

井村農業委員会会長 後継者がいて締結していない戸数は14戸である。

中瀬議員 委員会として家族経営協定の周知はどのようにされているか。

井村農業委員会会長 農業委員会だよりと未締結

世帯へパンフレット資料を配布している。

中瀬議員 協定書締結に助言、立会されているか。

井村農業委員会会長 調印には地域の農業委員が立会し、協定書に押印し内容確認と必要な助言を行っている。

中瀬議員 協定書の内容に変更があつた場合、速やかに手続きがされているか。

井村農業委員会会長 都度見直し変更手続きを行っている。

農 業

農業者年金の加入促進啓もうは

農業委員会だよりにより周知

(農業委員会会長)

中瀬議員 農業者年金は確定拠出型の財政方式であり保険料を支払っている世代の人数や、年金を受給している世代の人数変化による財政的な影響を受けない少子高齢化の時代でも安心できる制度である。現役世帯の中で加入可能な人、女性後継者の未加入者は。

井村農業委員会会長 加入可能な60歳未満の人は115人、内女性69人、後継者未加入7人である。

中瀬議員 委員会として年金加入促進、啓もうはどのようにされているか。

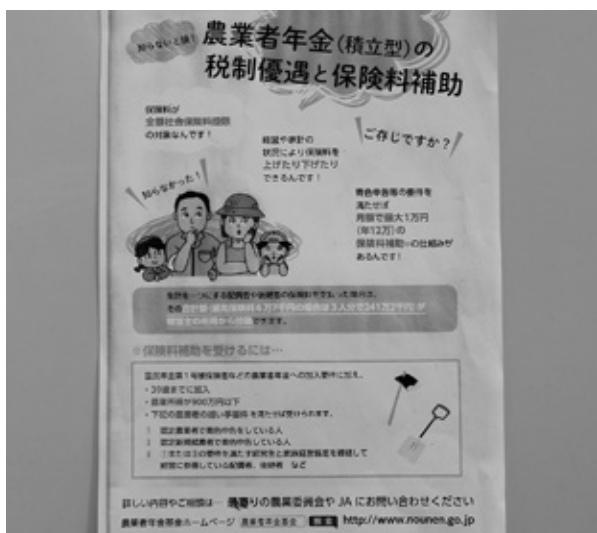
井村農業委員会会長 未加入者に対し農業委員会だよりで、年金制度の周知を図るほか、ふらの農協及び農業委員会事務局

で相談対応している。特に後継者のいる加入者に対し経営移譲の時、制度の優位性について、個別相談を行い加入促進を行っている。今後においても関係機関の協力を得ながら農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに農業者年

金制度の周知を図り加入者の拡大に取り組んでみたい。

中瀬議員 推進するにあたり会長の意気込みについて伺う。

井村農業委員会会長 家族経営協定も農業者年金についても十分な推進をしていきたい。



農業者年金のパンフレット

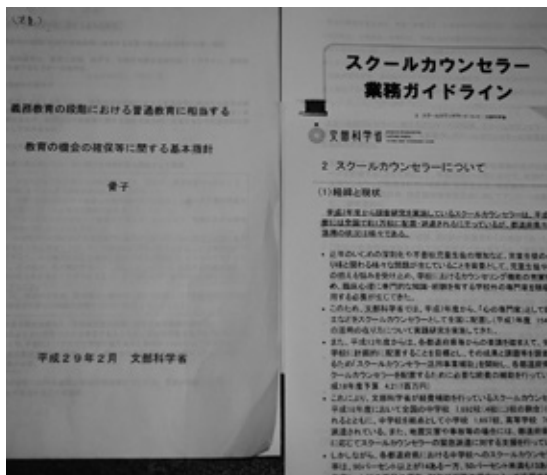


—高松 克年 議員—

スクールカウンセラーが重要

関係機関との連携強化を図る（教育長）

教育



教育機会確保法とスクールカウンセラー指針

高松議員 コロナ禍におけるスクールカウンセラーの実務等重要性は、今後増加する。各学校、教師、保護者、関係者との相互関係強化が必要。また、カウンセラーの重点配置をどのように考えるか。

高松議員 今後不登校、いじめ等の未然防止が重要と思うが。

服部教育長 保護者、担任、学校それぞれの立場からの子ども達への日常の変化の気づきが大切であると思う。また、早期発見ができるようにカウンセラーによる研修の機会を保護者や関係者が受けることによりスキルアップをしていく必要がある。

教育

児童生徒に最善の教育機会を

教育機会確保法に
基づく施策を図る（教育長）

高松議員 文科省は教育機会確保法を平成28年公布した。不登校により就学の機会が失われることは個人教育的損失となる。当該児童生徒がもつ要因に対して「教育機会確保法」のもとで対応をどのように行うか。

服部教育長 子どもたちや保護者との信頼関係を築き上げ、スクールカウンセラーなどの支援の取り組みにより、義務教育を十分に受けることのできなかつた未就学者、不登校児童などに教育の機会を確保するため、基本指針に基づき、不登校対策を進めていく。

高松議員 教育機会確保法にフリースクール等、夜間中学にも言及している。これらへの就学の機

会への情報、助言が必要とされているが対応は。

服部教育長 児童、生徒の最善の利益を最優先に支援を行うため、関係団体と連携し、児童生徒に寄り添った支援を行っていく。夜間中学校やフリースクールについては、学びの場に児童生徒と保護者との話し合いのもとに通うことは有益なものと考えていることから引き続き情報提供に努める。

高松議員 普通教育の学力の修得を希望する人への教材等（通信の手段を含む）必要な支援を講ずるとあるが、可能か。

服部教育長 中学校を卒業するすべての生徒に対しては、進路指導をしっかりと対応し、卒業後の学習機会を確保した上で

卒業を迎えている。インターネットを活用した学習については、学習保障の観点から様々な学習コンテンツが配信されているが、今後、小中学校の授業配信については検討すべき課題である。

高松議員 指導の場や居場所確保、教育、学習の場としての教育支援センターの機能をもつ場は確保できないか。

服部教育長 居場所をどのように作るか課題となる。町では学校アドバイザーを活用し、カウンセラー、学習指導併せて遊びを一緒にする等、実質的な教育センターに似たことを行っている。教育支援センターについては考えていない。



子育て

—米沢 義英 議員—

子どもセンターの分散ではなく一体的な施設を 新体制の下で検討される（町長）



町立病院の改築により取壊しが検討されている子どもセンター

米沢議員 町立病院の改築に伴い子どもセンターの取壊しが予定されている。この施設は、乳幼児期の療育支援、子育てに関する相談など、家庭や子供の成長を支援する拠点施設となっている。利用者からは、「子育てに迷った時でも気軽に対応してくれる。悩みを共有できる仲間がいて安心。今後も一体感がある施設としてあってほしい。」と話してくれた。利用者の対場に立って、計画を

進めるべきでは。
向山町長 子どもセンターの移転先については、子どもセンター機能を一か所に移転できる施設の確保が難しいことから、児童発達支援センターは、旧看護宿舎、子育て支援事業については、他の公共施設の活用を検討している。今後、意見交換を重ねてまいりたい。
また、子育て支援事業全体で考えることが必要であり、新体制の下で検討されていくと考える。

服 務

福祉事務手続き遅れの改善策を

事務手続き遅れの検証と 改善策を整理する（町長）

米沢議員

公務員は全体

の奉仕者として職務に専念しなければならないとされている。この間、町職員の現金着服に続き、新たに福祉事務手続きの遅れで、当事者に精神的な負担を与え、町民との信頼を損ねてしまったことは重大問題で、行政全体の問題としてしっかりと受け止めなければならない。再発防止策、町長や担当職員等の処分について伺う。

度とこのような事案が発生しないよう、事務体制の改善策等について検証、整理したい。職員に係る処分については、当該職員の面談を通じて、規定に基づき対応したい。自らの責任については、このような事案がなぜ起こったのか検証し、全ての部署において、職員の仕事に対する姿勢やモラル、職場環境の見直しも含めて、初心に返って職務に当たるよう指導・監督に努めるとともに、町民の皆様の信頼を損ねることがないようにしたい。

向山町長 この度の事案が発生し、多くの皆様の信頼を損ねる事態になったことに、心よりお詫びを申し上げる。再発防止については、当該職員が自宅療養中であり、今後の面談を通して、発生した原因について検証し、二



保健福祉課福祉対策班が入る保健福祉総合センター

総務産建常任委員会

本委員会は計13回の委員会を開催し、「防災対策について」のテーマで閉会中の継続調査を行いました。その中でも本委員会は、各種災害の共通事項である「情報伝達」と「避難所」にテーマを絞り、各項目についての調査を行い、議場にて報告を行いました。

情報伝達の調査項目

- 〈1〉 関係機関から受信する防災情報の種類（8種類）
- 〈2〉 住民に発信する情報伝達の方法（8種類）
- 〈3〉 外国人への情報伝達の方法
- 〈4〉 情報伝達の手法と災害時の情報発信の時期

避難所の調査項目

- 〈1〉 災害時避難行動要支援者について
- 〈2〉 避難所におけるペット対策について
- 〈3〉 災害ボランティアの対応について
- 〈4〉 避難所運営の備蓄品の状況について
- 〈5〉 災害弱者の対応について
- 〈6〉 避難所の収容人数について
- 〈7〉 感染症対策について
- 〈8〉 災害時応援協定について

現状の主な課題

情報伝達

- ・ 関係機関から情報受信の祝祭日対応
- ・ 住民等からの災害情報などを入手する双方向の手段
- ・ 日本語以外の情報伝達
- ・ 防災行政無線の複数回数の放送

避難所

- ・ 住民会未加入者に対する対応
- ・ ペット所有に対する実態把握と避難行動
- ・ ボランティアコーディネーターの育成
- ・ 感染症対策に対応した避難所運営
- ・ 民間事業者との協力関係拡大

◆総論（まとめ）◆

情報伝達については、現状は住民に対して8種類の方法や手段により災害情報が発信されているが、住民から災害情報を入力する手段は電話や直接の対面に限られているので、今後ICT技術を活用したより質の高い情報収集を図りたい。また、災害情報の受信弱者に対して可視化された情報が伝達される環境整備も必要である。

避難所について、町と住民会で災害時要支援者名簿の作成等を行っているが、住民会未加入者への対応が課題であり対応されたい。また避難所におけるペット対応については、ペット所有の現状把握をしつつ、災害時の対応について理解を深める必要がある。

災害ボランティア対応に関しては、被災者ニーズとボランティアをマッチングさせる「ボランティアコーディネーター」の研修や育成が課題であり、関係機関と検討

されたい。

また、新型コロナウイルス感染症に端を発した感染症対策については、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル」に基づいた訓練や検証を行い課題の解消に努められたい。

また、火山噴火による大規模な災害はもとより、近年各地で甚大な被害をもたらすゲリラ的豪雨や未曾有の台風などによる大雨洪水災害などに対する警戒も必要である。

災害が発生した時に、正確な情報が迅速に住民に届き安全に避難が行われるよう、平時の時から防災機関のみならず行政も住民も災害に対する準備を怠らず備えて「災害が発生した時には一人の犠牲者もたさない」といった準備と対応が大切である。



平成 28 年 8 月北海道豪雨災害時の視察のようす

厚生文教常任委員会

本委員会は、令和2年10月26日に委員会を開催し「上富良野町子どもセンター」の現況と、事業内容についての視察調査を行うことを決定し、11月9日に調査を実施しました。

子どもセンターの

現況と事業内容

昭和48年12月に老人及び身体障がい者の活動拠点として「老人障がい者センター」が新築された。その後、施設の目的変更が行われ、平成17年4月より「上富良野町子どもセンター」として運営が開始された。

センター内には「母子通園センター」と「子育て支援センター」としての機能が置かれていたが、平成18年には「母子通園センター」を「発達支援センター」に名称を変更し、今日に至っている。

発達支援センターの活動内容

発達支援センターは、発達に遅れがあると思われる就学前児童と親が一緒に通園する場所で、子どもが「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」において、将来、日常生活や社会生活が円滑に営まれるよう乳幼児期の療育支援を行うことが目的となっている。

子育て支援センターの活動内容

子育て支援センターは、就学前児童・妊産婦・その家族を対象に交流の場を提供し子育てを支援している。親子で遊ぶ事業のほか、育児相談、自由に遊ぶ「なかよしサロン」等が開設されている。

その他の利用団体

①ファミリー・サポート・センター

上富良野町と中富良野町の両町でファミリー・サポート・センター基本事業等を「NPO法人子どもサポートふらの」に委託し、様々な子育てに関するサポート事業が行われている。

現在、会員数は203名で、その内訳は提供会員21名、依頼会員115名、両方会員67名となっている。保育園や習い事の送迎、休日・夜間の預かりなどのサポートを実施している。

②高齢者事業団

平成元年、「高齢者事業団」が会員56名をもって発足し、事務局は老人身障者センターにおかれている。

③NPO法人たんぼの会

平成14年福祉ボランティア会員6名が「上富良野たんぼの会」を設立し、平成15年NPO法人の認可を受けた。現在も日曜日に託老所事業を行っている。

◆総論(まとめ)◆

今回「子どもセンター」の現況と事業内容についての調査で「発達支援センター」においては、発達が気にな

る就学前児童に対し、一人ひとりの特性に向き合い熱心な指導の様子を見て、改めて早期療育の必要性を認識することができた。

「子育て支援センター」では、子育て家庭に対する育児不安等についての相談・指導や子育てサークル等への育成・支援が行われてきており、地域の子育て支援の拠点として十分な機能が発揮されていた。

また、少子化の進行・核家族化の進行及び女性の社会進出などにより子育ての環境が大きく変化し、地域で子どもたちを育む基盤として様々な事業に取り組んでおり、上富良野町の子育て環境の振興に大きく貢献していることを確認することができた。

※両委員会報告書本文はホームページに掲載しています。



子どもセンター視察のようす



らべとんと



サトル先生の

今さら聞けない議会のコト その5



ぎじょう いちばんたか ところ すわ しかい ぎいん かた
議場の一番高い所に座って司会をしているのは議員の方ですか？

ぎちょう ちようぎかいぎいんせんぎよ
議長のことだね。町議会議員選挙の
あと、すぐにはつぎかい ひら
で議長と副議長を決めるんだよ。



議長室



ぎちょう ふくぎちょう き
では議長や副議長はどのように決めるのですか？

こうしよくせんぎよほう ちと ぎいんかん せんぎよ き ほう
公職選挙法というルールに基づき、議員間の選挙で決めるよ。方
ほう しめいすいせん とうひよう とお ぎいんぜんいん ぎ
法は「指名推選」と「投票」の2通りあるね。議員全員が『A 議
いん ふさわ しめいすいせん き
員が相応しいよね』となれば「指名推選」で決めることができるし、
こうほしゃ ふくすう とうひよう き
候補者が複数いれば「投票」によって決めることになるね。副議
ちよう き かた あな
長の決め方も同じだよ。



しかい ぎちょう ほか ぎいん しつぎ いっぱんしつもん じぶん
司会の議長は他の議員のように質疑とか一般質問ができず、自分の
いけん い
意見が言えないのではないですか？

ぎちょう ぎかいぜんたい だいひようしゃ ちゅう
議長は議会全体の代表者として中
りつせい たも
立性を保たなければならないん
だ。だけど議事を円滑に運営する
ぎじ えんかつ うんえい
ために様々な権限を持っている
さまざま けんげん も
し、過半数表決において同数の場
かはんすうひようけつ どうすう ば
合は議長がその可否を決めること
あい ぎちょう かひ き
ができるんだよ。正に議会のリー
まさ ぎかい
ダーだね。



議場の議長席（上段中央）

つづく

議会の窓



10月26日	厚生文教常任委員会
11月9日	厚生文教常任委員会
12月12日	総務産建常任委員会
17日	議会運営委員会
24日	議会運営委員会
30日	全員協議会
12月7日	第7回臨時会
8日	厚生文教常任委員会
9日	総務産建常任委員会
10日	議会運営委員会
16日	議会協賛会
17日	議会協賛特別委員会
18日	第4回定例会(1日目)
21日	第4回定例会(2日目)
27日	全員協議会
29日	議会協賛特別委員会
1月14日	議会運営委員会
18日	厚生文教常任委員会
27日	議会協賛特別委員会
29日	議会協賛特別委員会
2月2日	第1回臨時会
8日	連合審査会
9日	厚生文教常任委員会
	議会協賛特別委員会
	厚生文教常任委員会
	議会運営委員会

◆富良野沿線市町村議会議員研修会

に参加しました。

令和2年10月19日に上富良野町で富良野沿線市町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、議員12名が参加しました。

龍谷大学政策学部教授 土山希美枝氏による「質問力を高める 議会力にいかす」の題目にて、議会で行われる一般質問の役割や仕組み、機能を解説した後、その効果を最大限発揮する具体例として、議員間で個々の質問内容を共有し、町の課題に対する議会全体の質問となるよう努める必要性について講話をいただき、今後の議会活動の参考となりました。



土山 希美枝氏

◆令和2年度議会懇談会中止のお知らせ

例年開催している議会懇談会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の予防の観点から令和2年度の開催は中止する判断を行いました。4月以降の実施につきましては、引き続きコロナ禍の状況に応じて開催の検討を行いますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる機会です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政(町長や教育長)へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は…

3月3日(水)	報告案件、補正予算など
4日(木)	執行方針、新年度予算など
9日(火)	一般質問
10日(水)	一般質問
17日(水)	条例改正など

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！※傍聴にあたっては、新型コロナウイルス感染症の予防にご配慮願います。

お問い合わせ
上富良野町議会事務局 ☎6992

らべとんの大冒険！！



らべとん 上富良野日の出
スキー場に行ってみたの巻

夏はラベンダーで綺麗な日の出公園、冬はスキー場として使ってるんだね♪
リフト乗れるか不安だけど・・・
ちよっと、冒険に行ってみよう！



ロッジ内部のようす

管理運営は(株)上富良野振興公社が行っています

スキー場利用のご案内

所在地：東2線北27号 日の出公園
電話：0167-39-4200(上富良野振興公社)
リフト運行時間：午前9時00分～午後8時30分(ナイター午後4時～午後8時30分)
クローズ：3月7日(日) 予定 積雪、コロナの状況により変更の場合あり
リフト使用料：下記表のとおり

まちの声をきいてみたよ！

子どもがスキーの練習をしないといけなくて。街中にあるのですぐ行けて便利です。

30代 女性



街中にあるスキー場でいつでもすぐに練習に行けるね♪

ちよっとリフトで転んだらどうしようと不安で緊張する。

小学生



転んでも大丈夫！すぐ止めてくれるし、係の人が助けにきてくれるから大丈夫だって！

あつという間に滑り終わっちゃうちゃつけど楽しい♪

上富良野中学生



中学生には少し物足りないのかな？でもスキーは楽しいよね♪

リフトが中学生から大人と同じ料金なのは知らなかった。小人料金だと思って来たから・・・

40代 男性



近郊のスキー場のリフトも大体どこでも中学生から大人料金みたい・・・

リフト使用料

	小学生まで	中学生以上大人
1回券	30円	50円
11回券	300円	500円
1日券	500円	1,000円
シーズン券	3,000円	6,000円
ナイター券	400円	700円



シュレップリフトの練習のようす

知ってる？

- ①回っている円盤(オレンジ色部)を手でキャッチ
- ②引っ張って円盤を股にはさむ
- ③ロープが伸びきるとそのまま引っ張ってくれる
- ④山頂についたら円盤を股から外す

超初心者には高いハードルに感じるリフトも大丈夫!!



シュレップリフトの乗り方

編集後記

■新しい年を迎え皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年はコロナという目にみえない未知のウイルスに振り回された一年でした。まだまだ予断を許さない状況が続いてありますが、一人ひとりがマスクの着用や手洗いなど自分のできる感染症対策を行い平穏な日常を取り戻したいですね。一日も早い収束、経済復興を願うばかりです。

■昨年は「鬼滅の刃」が流行しました。その中の「竈門炭次郎のうた」の歌詞の一節に「どんなに苦しくても前へ前へ、進め、絶望絶ち、失っても失っても生きていくしかない、どんなにうちのめされても守るものがある」とあります。春はもうすぐです!!さあ、輝ける未来に向かって新町長と共にみんな前へ進もう!!

(元井 記)

議会広報特別委員会

委員長	副委員長	委員
高松 克年	小田 島久	元井 晴奈
		米沢 義英
		佐藤 大輔
		小林 啓太

発行／上富良野町議会

編集／議会広報特別委員会